



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

上場会社名 神東塗料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 小坂伊知郎
 問合せ先責任者 (役職名) 企画・経理室部長 (氏名) 浅田武志 (TEL) 06-6429-6264
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,205	2.9	81	160.2	204	136.6	116	—
2026年3月期第1四半期	5,059	3.3	31	△56.7	86	△47.6	△5	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 112百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △16百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	3.42	—
2026年3月期第1四半期	△0.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	31,404	14,240	42.0
2026年3月期	31,207	14,229	42.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 13,182百万円 2026年3月期 13,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	△11.0	50	△59.3	150	△38.1	50	△0.4	1.47
通期	19,000	△11.6	200	△21.7	450	14.3	200	—	5.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	34,060,000株	2026年3月期	34,060,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	22,904株	2026年3月期	22,904株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	34,037,096株	2026年3月期1Q	34,037,096株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格の上昇を背景にナフサ価格が高水準で推移し原材料価格の上昇圧力が継続したことに加え、中東地域を中心とした供給網の混乱もあり企業による在庫確保や代替調達の動きが強まり、一部の化学品等において供給制限等が発生するなど、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況で推移しました。

当社グループにおきましては、こうした事業環境の中、供給制限が発生した原材料については、代替品の調達や新規取引先から調達するなど工夫して調達の多様化を進めた結果、一部納期調整等をお願いした事例はあったものの、総じて大きな混乱もなく対応することができました。

当第1四半期連結累計期間における各分野の売上高は、以下のとおりであります。

インダストリアル分野の売上高は、粉体塗料分野において電気機器向け、部品メーカー向け塗料の出荷が好調に推移したこと、および工業用塗料分野において金属製品関係等が好調に推移した結果、分野全体で増加いたしました。

インフラ分野の売上高は、当分野全体の塗料製品は中東情勢の影響により顧客における在庫確保の引き合いが増加したことから出荷数量が増加したこと、防食塗料分野において新規案件を獲得したこと、および認証品について一部販売を再開したこともあり好調に推移しましたが、子会社の工事売上について、工事用塗料の出荷は継続いたしました但し工事材料の供給制限等の影響により工事完成が遅延し工事売上が減少したことから、分野全体で減少いたしました。

自動車用塗料分野は、インドネシア現法において輸出案件が増加したことから売上高は増加いたしました。

その他塗料分野は、主に、軌道材料製品分野において、道床安定剤の出荷が好調に推移したことから売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は5,205百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。損益面では、原材料価格の高止まりなどからコスト上昇圧力が続いているものの、価格改定による限界利益の改善が寄与した結果、営業利益は81百万円（前年同四半期比160.2%増）、経常利益は204百万円（前年同四半期比136.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は116百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、売掛金が197百万円、電子記録債権が178百万円および建設仮勘定が130百万円増加し、現金及び預金が335百万円減少したこと等により、31,404百万円（前連結会計年度末比196百万円増）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が545百万円および電子記録債務が88百万円増加し、短期借入金が498百万円減少したこと等により、17,163百万円（前連結会計年度末比185百万円増）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産（非支配株主持分を含む）は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が116百万円増加し、非支配株主持分が71百万円および為替換算調整勘定が26百万円減少したこと等により、14,240百万円（前連結会計年度末比11百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)の連結業績予想につきましては、2026年5月12日に公表しました業績予想に変更はございません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において原材料価格高騰等の影響があったものの固定費の削減により、営業利益255百万円、経常利益393百万円を計上いたしましたが、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては593百万円の損失と5期連続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上いたしました。当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き原材料価格高騰等の影響を受けたものの、営業利益81百万円、経常利益204百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益116百万円を計上いたしましたが、依然として借入金残高が4,599百万円と高水準となっております。

また、「2(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結貸借対照表関係) 偶発債務」に記載のとおり、当社において本件不適切行為が判明しており、今後の調停、訴訟およびお客様等との協議等の結果によっては、本件不適切行為に係る補償費用が新たに発生する可能性があります。これらにより、当社の連結業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点でその影響額を合理的に見積ることが困難なものについては、四半期連結財務諸表に反映しておりません。

これらの事象により、当社は継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況に対し、当社は、生産合理化等を推進し、固定費の削減を進めております。加えて、大日本塗料株式会社との事業提携によるシナジー効果の早期実現への取り組みを進めております。

また、本件不適切行為に関するすべての認証一時停止は解除されており、引き続き品質体制の強化に努めてまいります。

更に、2025年12月22日締結のシンジケーション方式によるコミットメントライン契約により、財務基盤の安定化を図っております。

以上の結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,081	2,746
受取手形	92	47
電子記録債権	1,816	1,994
売掛金	3,544	3,741
商品及び製品	2,068	2,149
原材料及び貯蔵品	951	991
その他	331	292
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	11,870	11,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,522	1,482
機械装置及び運搬具（純額）	780	752
工具、器具及び備品（純額）	277	284
土地	13,546	13,548
建設仮勘定	56	187
有形固定資産合計	16,184	16,254
無形固定資産	92	82
投資その他の資産		
投資有価証券	2,901	2,956
繰延税金資産	—	7
その他	158	153
投資その他の資産合計	3,059	3,116
固定資産合計	19,336	19,454
資産合計	31,207	31,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,740	4,286
電子記録債務	1,085	1,174
短期借入金	5,068	4,570
未払法人税等	133	58
賞与引当金	194	90
役員賞与引当金	2	—
未払費用	104	82
品質不適切行為関連費用引当金	233	233
その他	555	796
流動負債合計	11,117	11,292
固定負債		
長期借入金	31	29
再評価に係る繰延税金負債	3,939	3,939
役員退職慰労引当金	13	13
退職給付に係る負債	1,186	1,198
繰延税金負債	55	54
その他	634	636
固定負債合計	5,860	5,871
負債合計	16,978	17,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449	2,449
資本剰余金	779	779
利益剰余金	566	683
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,791	3,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	132
土地再評価差額金	8,578	8,578
為替換算調整勘定	611	585
退職給付に係る調整累計額	△22	△21
その他の包括利益累計額合計	9,307	9,274
非支配株主持分	1,130	1,058
純資産合計	14,229	14,240
負債純資産合計	31,207	31,404

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,059	5,205
売上原価	4,189	4,285
売上総利益	869	919
販売費及び一般管理費		
発送費	121	131
広告宣伝費及び販売促進費	11	10
従業員給料及び手当	221	229
賞与引当金繰入額	37	33
退職給付費用	18	19
減価償却費	29	24
試験研究費	32	19
その他	366	369
販売費及び一般管理費合計	838	837
営業利益	31	81
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	12	12
受取賃貸料	5	5
持分法による投資利益	53	120
その他	2	3
営業外収益合計	74	143
営業外費用		
支払利息	19	18
支払手数料	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	19	20
経常利益	86	204
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	84	203
法人税等	55	49
四半期純利益	28	154
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	116
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	38

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△16
為替換算調整勘定	△69	12
退職給付に係る調整額	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△39
その他の包括利益合計	△45	△42
四半期包括利益	△16	112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52	83
非支配株主に係る四半期包括利益	35	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの報告セグメントは「塗料事業」のみであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	139百万円	134百万円

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

2022年3月期に判明した当社製の一部製品に係る不適切行為（以下「本件不適切行為」）に関連して一部のお客様からは、地方裁判所において、本件不適切行為に係る損害として総額703百万円の賠償を求める訴訟の提起を受けております。このうち、670百万円については、2023年5月18日付で株式会社ハズから提起された訴訟にかかるものであり、訴状を2023年6月5日に受領しております。訴訟に関しては弁護士とも協議のうえ対応してまいります。

現時点で合理的に見積ることが可能な本件不適切行為に係る補償費用については四半期連結財務諸表に反映しておりますが、今後の調停、訴訟およびお客様等との協議の結果によっては新たな補償費用が発生する可能性があります。

以上のことは当社の今後の連結業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点でその影響額を合理的に見積ることが困難なものについては、四半期連結財務諸表に反映しておりません。